

令和 6 年 6 月 15 日現在

機関番号：44317

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20K00308

研究課題名（和文）翻訳絵本にみられる異文化受容の歴史的研究（終戦から1954年12月まで）

研究課題名（英文）A Historical Study of Cross-Cultural Acceptance in Translated Picture Books
(from the End of the War to December 1954)

研究代表者

生駒 幸子 (Ikoma, Sachiko)

龍谷大学短期大学部・その他部局等・准教授

研究者番号：10584849

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では1945年9月から1954年12月までの原書と翻訳絵本の比較検討を通して、絵本翻訳における異文化受容の様相を歴史的に検証し、戦後絵本史の出発点となった翻訳絵本の実態を解明した。戦後占領期の絵本翻訳はGHQ/SCAPによる検閲の影響を強く受け、翻訳斡旋である入札制度、特殊な翻訳権の取り扱いのもとで実質的に統制されていたことが明らかになった。統制の延長線上ではあったが、これらの海外絵本は、岩波の子どもの本 絵本シリーズ（1953年12月～54年12月）の出版に代表されるように、自由で未来への可能性に満ちた新しい子ども像をもたらし、日本絵本史における現代絵本の萌芽期を形成した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

1945年9月から54年12月までの翻訳絵本を「翻訳方法」に着眼して異文化受容の様相を検討することにより、GHQ/SCAPによる翻訳出版物の入札制度という統制が、その後の絵本翻訳の方法に影響を与えた実態を解明した。特に、横組みの海外絵本を縦組みにする際に、絵本の絵をどのようにレイアウトしたのかについて詳らかにした。また、岩波の子どもの本には各国の子どもの生活や遊び、食文化を描く作品が多く含まれており、平和を希求する異文化理解の精神が垣間見られる。本研究結果は、日本の戦後絵本史における翻訳絵本の出発点を社会文化的背景に照らして明らかにしたという点において学術的意義を持つ。

研究成果の概要（英文）：Through a comparative study of original and translated picture books from September 1945 to December 1954, this study historically examined the ways of cross-cultural acceptance in picture book translations and elucidated the ingenuity in the process. Outcome of such efforts became the starting point of postwar picture book history. The picture book translations during the postwar occupation period were strongly influenced by the censorship by GHQ/SCAP, using the bidding system as a way of suggesting candidate books for translation, and controlling what could be published under the implementation of translation rights. The bidding system was in place until June 1951 even after the censorship was ended, but translations of picture books continued to be active. Such process also brought a new image of children who should be free and full of future possibilities, as exemplified in the epoch-making “Iwanami Children's Picture Books” series (December 1953-December 1954).

研究分野：児童文化（絵本）研究

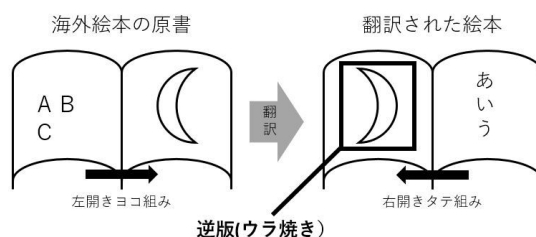
キーワード：絵本 翻訳 検閲 入札制度 統制 岩波の子どもの本

1. 研究開始当初の背景

翻訳絵本にみられる異文化受容の歴史的研究 (終戦から 1954 年 12 月まで)

翻訳絵本にみられる異文化受容の様相 本研究の学術的背景

報告者はこれまで戦中から戦後にかけての翻訳絵本に着目して研究を行ってきた。終戦間もない時期に出版された翻訳絵本の数々には、混乱期において異文化との出会いに戸惑いつつも「異文化をどのように日本の子どもたちに伝えるのか」という問題に真摯に向き合う翻訳者・編集者の試行錯誤が垣間見られた。翻訳絵本には「自分とは異なる他者を理解し、共に生きる」異文化受容の様相が立ち現れており、絵本と出会う子どもに向けて世界平和を発信する姿がある。例えば 1954 年 12 月出版の翻訳絵本『ひとまねこざる』では、言葉においては「スパゲッティ」を「うどん」と訳し、絵においてはヨコからタテへの組み直しの必要があったために、絵の一部を逆版(ウラ焼き)にして翻訳する方法がみられる(図 1)。絵本の絵に描かれる人物や物の向きには物語展開上の意味が込められており進行方向があるため、絵本の翻訳には言葉だけでなく絵を翻訳するという難しさを伴っていた。



(図 1: 絵本翻訳における絵の逆版の構造 「」は絵本の進行方向を示す)

戦後絵本史の出発点となった翻訳絵本 研究課題の核心をなす学術的「問い」

日本絵本史を紐解いてみると、著しい発展を遂げた戦後の絵本文化の原点には太平洋戦争直後に流入した海外絵本の影響がある。海外絵本の翻訳はそれまでの絵本観を覆すほど画期的だったと評されるが、この時期の翻訳絵本について未だ本格的な研究はわずかであり、戦後絵本の出発点については解き明かされていない。戦後の占領期 GHQ / SCAP による検閲、入札制度など出版を取り巻く複雑な状況が児童書出版の調査をいっそう困難にさせてきた。近年、戦後占領下の児童書出版(プランゲ文庫所蔵)における検閲の実態が明らかにされたが(谷 2016)、翻訳絵本については部分的な書誌に関する先行研究が多少あるのみで(石川 2002、近藤 2002)、詳細かつ俯瞰的に検証されておらず依然として謎に包まれている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、太平洋戦争終戦から 1954 年 12 月までに出版された翻訳絵本にみられる異文化受容の様相を歴史的に検証することである。具体的には 戦後絵本史の出発点となった翻訳絵本の実態の解明、翻訳絵本にみられる異文化受容の様相を歴史的に検証である。

絵本は子どもの豊かな想像力や情緒を育む児童文学であると同時に、社会や文化の実態を映すドキュメントでもある。戦中、絵本は文化統制を経て戦意高揚のためにプロパガンダの一翼を担うという運命をたどり、戦後ようやく本来の自由闊達な子どもの姿を描くものとなった。報告者はこれまで行ってきた戦中・戦後の絵本史研究から、戦後絵本史の出発点に翻訳絵本が大きな影響を与え、海外絵本の翻訳には異文化受容の様相が立ち現れていることを見出した。終戦間もない時期において「どのような絵本がどのように翻訳されたか」を紐解く研究は未だ行われていない。これらの翻訳絵本の歴史的研究は、異文化理解・多文化共生という時代を超えた普遍的命題に対峙する手掛かりとなる。

3. 研究の方法

研究方法は文献調査法とし、戦後占領期の GHQ / SCAP による検閲、翻訳権による出版など児童書出版を取り巻く状況等をふまえて 1945 年 9 月から 1954 年 12 月までを 3 期に分割し、翻訳絵本を調査し、戦後間もない時期に児童文化において異文化がどのように受容されたのか実態と変遷を歴史的に検証する。研究対象は単行本として出版された翻訳絵本とし、絵雑誌は原則含まない。終戦から 1954 年 12 月までの約 10 年間に翻訳出版された翻訳絵本、翻訳の方法について調査し、絵本にみられる異文化受容の様相と変遷を検証する。

1) 戦後占領期の GHQ / SCAP による検閲、翻訳権による出版など児童書出版を取り巻く状況等をふまえて 1945 年 9 月から 1954 年 12 月までを 3 期に分割し、翻訳絵本を調査する。戦後絵本の出発点に翻訳絵本がどのように位置付けられるかを明らかにする。戦後翻訳絵本のエポックとなった岩波書店の絵本シリーズ 岩波の子どもの本 (1953-54) を分水嶺として、以下 3 期に分けて調査を行う。

第1期：1945年8月～1949年10月（占領下検閲期の翻訳絵本）

第2期：1949年11月～1953年11月（検閲終了後）

第3期：1953年12月～1954年12月（岩波の子どもの本 第1期4回配本の時期）

2) 1) の翻訳絵本について現存する原書と訳書とを比較し、絵と言葉がどのように翻訳されているか翻訳方法を検討する。事前調査により第1期・第2期の翻訳絵本（翻案を含む）をリストアップしている。翻訳のプロセスにおいて、絵本の言葉はどのように翻訳されたのか、絵本の絵はどのように編集されたのかなどの翻訳方法を検討する。

3) 2) における翻訳方法の検討から、戦後の絵本出版における異文化受容の実態と変遷を歴史的に検証する。

4. 研究成果

1945年8月の終戦から1954年12月までの翻訳絵本における異文化受容の歴史的研究の結果、戦後占領期の絵本翻訳はGHQ/SCAPによる検閲の影響を強く受け、翻訳出版斡旋である入札制度、特殊な翻訳権の取り扱いのもとで、実質的に統制されていたことが明らかになった。入札制度のもとではGHQからの「完訳にして正確なること」という指示のもとで、各出版社は原書を尊重する翻訳を心掛けていた（表1）。入札により翻訳出版された12冊の絵本の原書と訳書を比較検討したところ（表2）特に子どもの生活・遊びや食文化において、当時の日本の状況に照らしつつ、言葉の翻訳、絵の翻訳を通して異文化の受容を試みていたことが明らかになった。また、ヨコ組みの絵本をタテ組みに組み直す際に、絵をどのようにレイアウトするのも創意工夫がなされていた。日本における戦中の絵本とは全く異なる民主主義的な思考や、自由で明るい心のびのびとした子ども観を描く海外絵本は、現代絵本の出発点と評される岩波の子どもの本 絵本シリーズ（1953年12月～54年12月）に大きな影響を与えている。これらの海外絵本は、既存の絵本観（絵雑誌と呼ばれる形態である絵本）を覆し、1冊にひとつの物語を収録する絵本の出版形態も導いたであろうことが推測される。占領下の出版統制の延長線上ではあったが、これらの海外絵本は、絵本出版に自由で未来への可能性に満ちた新しい子ども像をもたらし、日本絵本史における現代絵本の萌芽期を形成したといえる。

（1）第1期：1945年9月～1949年10月（占領下検閲期の翻訳絵本）

国立国会図書館及び国立国会図書館国際子ども図書館の蔵書、プランゲ文庫（国立国会図書館デジタルアーカイブズ）、大阪府立中央図書館国際児童文学館の蔵書を閲覧した結果、翻訳絵本と考えられるものは113冊あると推定できた。特に原書が特定できない「翻案」（完訳ではなく、世界で評価され児童文学作品のダイジェスト版）と思われる出版物が多く、また教育的には良書とは評価できないような通俗的な内容のものも散見された。現代の絵本にみられるような装幀の出版物はほとんどみられず、戦後の物品不足を象徴する仙花紙でできた絵本、またインクの質も悪いためか印刷、製本の状態もよくないものが多い。ただし、GHQ/SCAPによる翻訳斡旋である入札制度のもとで翻訳された絵本については、用紙・インクともに質の高いものが使われている。

原書が特定できたものは4冊のみであり、そのうち3冊（フリップ物語（1949.4）、すばらしい世界へ（1949.5）、象ちゃんババアルのおはなし（1949.7））は入札制度のもとで翻訳された絵本であり、翻訳方法に関しては原書を忠実に再現するよう指示が出ていたため原書通りのヨコ組み、絵もそのまま（原書尊重型）で翻訳がなされていた。第1期に始まった入札制度により翻訳出版された絵本について、制度の背景や出版の状況、翻訳権の取り扱い、入札・落札について詳細に調査した。（表1）

（2）第2期：1949年11月～1953年11月（検閲終了後）

第1期と同様の調査により、翻訳絵本と考えられるものは86冊あると推定できる。そのうち9冊（たくさんのお月さま（1949.12）、ふしぎな500のぼうし（1949.12）、ディズニーの白雪姫と七人の小人（1950.1）、うさぎのラバット（1950.4）、エブラハム・リンカーン（1950.4）、ねむたいライオンの子（1950.4）、どんどんお山をおりてゆく（1950.6）、うさぎの丘（1950.11）、カモさんおとおり（1950.11））は入札制度のもとで翻訳出版された絵本である。原書を特定し、翻訳方法の調査を行った結果、原書尊重型のもの、また当時一般的であった書字方向にするためにヨコ組みの海外絵本をタテ組みに組み直し、絵をそのままにしたもの、逆版に印刷するなどレイアウトにおける創意工夫を各出版社が試みていたことが明らかになった。

第1期・第2期にわたる入札制度により翻訳出版された絵本12冊の原書と訳書を比較検討した結果は表2に明らかにした。明るく楽しい生活・遊び、食文化、民主主義的な思考などの異文化が描かれた絵本は、入札による翻訳出版という実質上の統制のもとでもたらされた。

（3）第3期：1953年12月～1954年12月（岩波の子どもの本 第1期4回配本の時期）

第1期出版における24冊中22冊が翻訳絵本である。入札による絵本出版2冊に携わった光吉夏弥が選書したが、新たな時代の風を読んで海外絵本を多く取り入れたと考えられる。表3の通り、さまざまな国の作品を翻訳する工夫がなされている。22冊の翻訳絵本の原書と訳書を比較検討したが、完訳ではなくダイジェスト版も多くあり、また絵を日本の画家が描いた絵本も多くある。また、内容としては明らかに第1期・第2期の占領期のGHQ/SCAP文化統制の延長線上にある出版物であることが見受けられる。絵のレイアウトに関しては、ヨコ組みの海外絵本をタテ組みに組み直し、絵本の進行方向に合わせて逆版印刷を採用している。戦後絵本史の原点となった絵本シリーズが、占領期の出版統制の延長上にあったことを歴史的に解明できた。

表1：入札各回の入札・落札記事と出版確認できた絵本

回	年	入札締切	落札決定	落札され出版を確認できた絵本【タイトル】 根拠となった入札・落札の記事【入札】・【落札】
1	1948	6/5	6/14	『すばらしい世界へ』 【入札】 出文 (204) 5/21、日読 (443) 5/26 【落札】 出文 (207) 6/21、日読 (445) 6/23
2	1948	10/19	10/25	【入札】 出文 (215) 10/1、日読 (460) 10/6 【落札】 出文 (217) 10/21、日読 (464) 11/3・(465) 11/10
3	1948	11/10	11/15	【入札】 出文 (217) 10/21、日読 (463) 10/27 【落札】 出文 (219) 11/11・(220) 11/21、日読 (467) 11/24
4	1948	12/23	12/28	『エブラハム・リンカーン』『フリップ物語』『象ちゃんババアルのおはなし』 【入札】 日読 (470) 12/15 【落札】 出文 (224) 1/11、日読 (473) 1/12
5	1949	1/28	2/2	【入札】 日読 (474) 1/19 【落札】 日読 (477) 2/9
6	1949	3/10	3/15	【入札】 日読 (480) 3/2 【落札】 出文 (229) 3/21・(230) 4/1、日読 (473) 3/23
7	1949	5/13	5/19	『たくさんのお月さま』 【入札】 出文 (232) 4/21・(233) 5/1、日読 (489) 5/3 【落札】 日読 (492) 5/25
8	1949	7/8	7/14	『ディズニーの白雪姫と七人の小びと』『どんどんお山をおりてゆく』『ねむたいライオンの子』『ふしぎな500のほうし』 【入札】 日読 (497) 6/29、図新 (2) 7/2、出文 (237) 7/1・(238) 7/11 【落札】 日読 (500) 7/20、出文 (239) 7/21
9	1949	9/9	9/14	『うさぎのラバット』 【入札】 日読 (506) 8/31 【落札】 日読 (509) 9/21
10	1949	12/9	12/14	【入札】 出文 (246) 11/21、日読 (519) 11/30 【落札】 日読 (522) 12/21、出文 (248) 1/1
11	1950	2/10	2/15	『カモさんおとおり』 【入札】 日読 (527) 2/1、出文 (250) 2/1 【落札】 出文 (253) 3/21・(254) 4/11
12	1950	5/19	5/24	『うさぎの丘』 【入札】 出文 (253) 3/21・(256) 5/1、日読 (535) 3/29・(540) 5/3、図新 (43) 5/3 【落札】 図新 (48) 6/7、出文 (260) 6/21
13	1950	11/4	11/8	【入札】 日読 (565) 10/25 【落札】 日読 (566) 11/15
14	1951	6/12	6/16	【入札】 記事なし 【落札】 記事なし

・略称：『出版文化』= 出文、『日本読書新聞』= 日読、『図書新聞』= 図新

表3：岩波の子どもの本 第1期出版（1953年12月～1954年12月）

	タイトル	出版年月日				異文化理解
1	ちびくろ・さんぼ	昭和28年12月10日第1刷発行	1953年12月	130円	カンガルー	アメリカ
2	ねずみとおうさま	昭和28年12月10日第1刷発行	1953年12月	130円	カンガルー	スペイン
3	ふしぎなたいこ	昭和28年12月10日第1刷発行	1953年12月	130円	カンガルー	日本
4	みんなの世界	昭和28年12月10日第1刷発行	1953年12月	150円	ゾウ	アメリカ
5	スザンナのお人形・ピロードうさぎ	昭和28年12月10日第1刷発行	1953年12月	150円	ゾウ	フランス
6	山のクリスマス	昭和28年12月10日第1刷発行	1953年12月	150円	ゾウ	オーストリア
7	まいごのふたご	昭和29年4月15日第1刷発行	1954年4月	130円	カンガルー	アメリカ
8	おかあさんだいすき	昭和29年4月15日第1刷発行	1954年4月	130円	カンガルー	アメリカ、ス
9	ちいさいおうち	昭和29年4月15日第1刷発行	1954年4月	130円	カンガルー	アメリカ
10	ナマリの兵隊	昭和29年4月15日第1刷発行	1954年4月	150円	ゾウ	デンマーク
11	海のおばけオーリー	昭和29年4月15日第1刷発行	1954年4月	150円	ゾウ	アメリカ
12	金のニワトリ	昭和29年4月15日第1刷発行	1954年4月	150円	ゾウ	スペイン
13	どうぶつのこどもたち	昭和29年9月1日第1刷発行	1954年9月	130円	カンガルー	ロシア
14	おそばのくきはなぜあかい	昭和29年9月1日第1刷発行	1954年9月	130円	カンガルー	日本
15	もりのおばあさん	昭和29年9月1日第1刷発行	1954年9月	130円	カンガルー	イギリス
16	アルプスのきょうだい	昭和29年9月1日第1刷発行	1954年10月	150円	ゾウ	スイス
17	百まいのきもの	昭和29年9月1日第1刷発行	1954年11月	150円	ゾウ	
18	村にダムができる	昭和29年9月1日第1刷発行	1954年12月	150円	ゾウ	インド
19	ひとまねこざる	昭和29年12月10日第1刷発行	1954年12月	130円	カンガルー	アメリカ
20	はなのすきなうし	昭和29年12月10日第1刷発行	1954年12月	130円	カンガルー	スペイン
21	こねこのぴっち	昭和29年12月10日第1刷発行	1954年12月	130円	カンガルー	スイス
22	九月姫とウグイス	昭和29年12月10日第1刷発行	1954年12月	150円	ゾウ	タイ
23	ツバメの歌	昭和29年12月10日第1刷発行	1954年12月	150円	ゾウ	アメリカ
24	どうぶつ会議	昭和29年12月10日第1刷発行	1954年12月	150円	ゾウ	ドイツ

表2：入札制度により翻訳出版された絵本の原書と翻訳本の比較検討

入札回	原書タイトル・書誌	サイズ	頁数	翻訳絵本タイトル・書誌	サイズ	頁数	翻訳：文章	翻訳：絵
1	<i>Let's Do Better</i> Leaf, Munro. New York: J.B. Lippincott, 1945.	26/不明	79	①『すばらしい世界へ』 マンロ・リーフ絵と文、秋庭俊彦訳、創藝社、1949年5月、180円	26/18	78	ヨコ組み (原書通り)	原書通り
4	<i>Abraham Lincoln</i> D'Aulaire, Ingrid, and Edgar Parin D'Aulaire. New York: Doubleday, 1939.	31.5/22.5	55	②『エブラハム・リンカーン』 イングリッド・ドオレーア、エドガー・パーリン・ドオレーア作、光吉夏彌・進士益太訳、羽田書店、1950年4月	26/18	55	タテ組み	逆版印刷 配置変更
4	<i>Flip</i> Dennis, Wesley. New York: The Viking Press, 1941.	24.5/20.5	61	③『フリップ物語』 ウェズレー・デニス画と文、櫻沢如一訳と註、コンパ出版、1949年4月、150円	25/19	61	ヨコ組み (原書通り)	原書通り
4	<i>The Story of Babar: The little elephant.</i> Brunhoff, Jean de. New York: Random House, 1933.	28.5/20.5	48	④『象ちゃんババアルのおはなし』 ジャン・ド・ブリュノフ作、石部幹子訳、世界文学社、1949年7月、200円	26/18	48	ヨコ組み (原書通り)	原書通り
7	<i>Many Moons</i> Story: Thurber, James. & Pictures: Slobodkin, Louis. New York: Harcourt, Brace, 1943.	21.5/25.5	47	⑤『たくさんのお月さま』 ジェイムズ・サーバー作、ルイス・スロボドキン画、光吉夏彌訳、日米出版社、1949年12月、160円	22/19	47	タテ組み	逆版印刷
8	<i>Walt Disney's Snow White and the Seven Dwarfs</i> Adapted from Grimm's Fairy Tales. Illustrations by Walt Disney Studio. New York: Simon and Schuster, (出版年記載なし).	16.7/20	43	⑥『ディズニーの白雪姫と七人の小びと』 出版社 Simon and Schuster、版權所有者 Walt Disney Productions、原著者 Snow White The Seven Dwarfs、大森武男訳、トッパン、1950年1月、150円	20/17	43	タテ組み	逆版印刷 配置変更
8	<i>Down Down The Mountain</i> Dredle, Ellis. New York: Thomas Nelson and Sons, 1934.	30/23	45	⑦『どんどんお山をおりてゆく』 エリス・クレッドル絵と文、高橋さかえ訳、律文社、1950年6月、100円	26/18	39	ヨコ組み (原書通り)	絵の統合
8	<i>The Sleepy Little Lion</i> Words: Brown, Margaret Wise. & Photograph: Ylla. New York: Harper & Brothers, 1947.	29.5/24	31	⑧『ねむたいライオンの子』 イーラ写真、マーガレット・ワイズ・ブラウン文、小峰廣恵訳、小峰書店、1950年4月、120円	29/24	31	ヨコ組み (原書通り)	原書通り
8	<i>The 500 Hats of Bartholomew Cubbins</i> Dr. Seuss. New York: The Vanguard Press, 1938.	31/24	49	⑨『ふしぎな500のぼうし』 シュース博士著、大森武男訳、亀倉雄策装幀、トッパン、1949年12月、130円	26/18	49	タテ組み	配置変更
9	<i>Robbat, A Tale of Tails</i> Lawson, Robert. New York: The Viking Press, 1948.	25.5/17	94	⑩『うさぎのラバット』 ロバート・ローソン著、野上彌生子訳、熊田五郎装幀、小峰書店、1950年4月、160円	26/18	93	タテ組み	逆版印刷 配置変更
11	<i>Make Way For Ducklings</i> McClosky, Robert. New York: The Viking Press, 1941.	31/23	63	⑪『カモさんおとおり』 ロバート・マックロスkey作、磯貝通子訳、日米出版社、1950年11月、120円	26/19	63	タテ組み	原書通り
12	<i>Rabbit Hill</i> Lawson, Robert. New York: The Viking Press, 1944.	24/16	128	⑫『うさぎの丘』 ロバート・ローソン著、野上彌生子訳、熊田五郎装幀、小峰書店、1950年11月、200円	26/18	126	タテ組み	逆版印刷 配置変更

(4) 本研究において残された課題と、新たに見出された研究課題

本研究で残された課題としては、岩波の子どもの本に続く翻訳絵本シリーズである福音館書店「世界傑作絵本」における異文化受容の調査である。また占領下の入札制度と時を同じくして米国教育使節団による児童書寄贈「本の贈物」(1946～48年頃)の実態調査も必要である。

新たに見出された課題としては、被爆地である広島出版の出版社「広島図書」の児童書出版に関する調査である。広島図書が、戦後いち早く翻訳絵本や教科書(アメリカの教科書翻訳)の出版に取り組み、海外向けにSILVER BELLSという日本の子ども文化を情報発信する英語の雑誌を発行していたことがわかってきた。この時期に海外への子どもの文化(折り紙や紙芝居などの遊び、食文化、季節の行事など)を発信していたことは極めて興味深い。異文化受容としての翻訳出版と同様、日本から積極的に海外に情報発信していた事実は、平和を望む思いの表れであろう。本研究に引き続き、これらの研究課題に誠実に取り組んでいく所存である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 生駒幸子	4. 巻 27
2. 論文標題 戦後占領期の入札制度により翻訳出版された絵本 どのように「絵の翻訳」をしたのか	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 白百合女子大学児童文化研究センター研究論文集	6. 最初と最後の頁 61-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 生駒幸子	4. 巻 500・501合併号
2. 論文標題 食べものが描かれる絵本 異文化理解、暮らし、ジェンダーの視点から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 龍谷大学論集	6. 最初と最後の頁 174-207
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>絵本に描かれる食べもの 異文化理解、暮らし、ジェンダーの視点から https://www.kodomo.go.jp/event/event/event2023-10.html 国立国会図書館月報 756号（2024年4月） chrome-extension://efaidnbmninnibpcapjpcgiclfndmkaj/https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_13380260_po_geppo2404.pdf?contentNo=1 国立国会図書館国際子ども図書館の展示会「おいしい児童書」の関連講演会に講師として招聘された（2023年10月1日、於：国立国会図書館国際子ども図書館）。 講演会内容ダイジェストは国立国会図書館月報に掲載された。</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	谷 暎子 (Eiko Tani)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	石川 晴子 (Ishikawa Haruko)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関